



若葉の力 < 6月号 >

学校教育目標 『豊かな心を持ち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』

○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を育む生徒 ○心身の健康に努める生徒

「努力」とは、薄紙を一枚一枚重ねていく行為

校長 小金井 幸則

現在、全国までつながっている学校総合体育大会が行われています。本校では、勝ち残っている部やこれからの部があります。3年生にとってはこれが最後の公式戦です。コロナ禍のために、十分な活動ができなかったかもしれませんが、ひとつのことに對して仲間と共に全力で努力し、諦めずに最後まで取り組んだ経験は、かけがえのないことであり、これから先、訪れるであろうさまざまな困難に打ち勝つためのエネルギーになると思います。「努力は必ず報われる」「努力は裏切らない」とよく言われます。大会前日の壮行会で生徒たちに以下の話をしました。

いよいよ明日から学校総合体育大会が行われます。3年生にとっては最後の公式戦です。吹奏楽部や美術部には、これから最後のコンクールや展覧会があります。最後の大会に向けて3年生が真剣に練習をしている姿は、1、2年生の目には、とても頼もしく、憧れの存在として見えているでしょう。2年生や1年生も、これまで努力を積み重ね、少しずつ力をつけてきましたね。

「努力」とはどういうものか。例えば、薄い紙一枚を横から見てください。一枚だとほとんど紙の厚みは見えません。二枚ではどうでしょうか。それでもまだ見えません。では十枚ではどうでしょうか。やっと紙の厚みが見えてきます。百枚ではどうか。そこには紙 百枚分の厚み、紙の存在が確かにわかります。紙一枚が、皆さんが毎日行っている勉強や部活の練習1日分だとしましょう。1日、2日では、その成果（紙の厚み）はわかりませんが、10日間続けると少し成果が見えてきて、100日間続けるとその成果は確かなものになります。

「努力」とは、勉強にしても部活にしても、すぐに結果を求めず、地道に、コツコツ、少しずつ、そして諦めず、薄紙を一枚一枚重ねていく行為だと思います。だから努力は、すぐに実らないことが多いのです。

皆さんは、これまでコツコツと努力を続けてきました。まず、そのことに自信をもってください。そして、その努力によって出された結果に納得することができたら、それが、努力が実った瞬間です。

どのような結果になったとしても、自分たちが納得でき、競技者として、人として、更にレベルアップできるような大会にしてきてください。健闘を祈ります。



生徒総会



体育祭



学校総合体育大会 壮行会